

「伝える つなぐ」

佐賀県は、令和7年10月8日に戦後80年佐賀県戦没者追悼式を開催しました。
これまで、20年ごとに開催していましたが、戦没者の遺児の年齢は80歳を超えており、御遺族の想いを深く受け止め、10年前倒して開催しました。

追悼式では、佐賀県遺族会から中高生の代表に「伝える つなぐ」としたためた書が伝達されました。

以下は、佐賀県遺族会会長から中高生のみなさんへのメッセージです。

『80年前、日本は戦争によって310万人もの大切な命を失いました。
戦争が終わった後は、残された家族みんなで精一杯協力し、助け合ってきました。
みなさんには、同じような悲しい経験や苦しい思いをしてほしくありません。
戦争が二度とあってはいけない、させない、という戦没者遺族の想いと記憶を
みなさんに「伝えそしてつないで」いきたい。』

戦争のない平和な日々が続きますように「平和の尊さ」を語り、伝えあって、
しっかりと平和が未来につながっていくように願っています。』

御遺族の声（中高生のインタビュー他）



YouTube



Instagram



Facebook